

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールA (Seminar of Study A)		
ナンバリングコード	L31204	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120411	クラス名	中西研究室
担当教員名	中西 章敦		
履修上の注意、履修条件	実施日は履修者と調整のうえ決定します。 外部協力者との調整により変更となる場合がありますが、その場合は講義内でお知らせします。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	講義内で適宜紹介します。		
関連科目	教育科目・専門科目全般		

○基本情報	
授業の目的	4年次に実施する卒業研究に向けて、研究室で取り扱っている研究テーマを学習、経験するとともに、研究フィールドを経験しながら研究、実験、調査、分析の手法を学び、自身の研究テーマの方向性を決定していきます。 土木、環境の仕事を理解し、自身の進路の決定に役立てるとともに、業界の活性化について考えていきます。 本講義はディプロマポリシーにある「変化する現代社会の中で、地球規模から地域の環境・景観、身の周りの暮らしに至るまでの諸問題を理解」することを目的としている。
授業の概要	大分県内の土木事業および環境事業の実際の現場に出向き、行政関係者やNPO、地域住民と問題の共有を行い、解決の方向性についてゼミナール形式で質疑応答、討論を行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目
実務経験のある教員による授業科目	中西章敦(大分県土木建築部における大分県の道路・河川・地域づくりに関する行政) 「大分県内の実際の諸問題の現場をテーマに取り上げる実習」

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	① 地域・現場における問題に関心を持ち、意欲を持って課題解決に取り組むことができる。			30点
【知識・理解】	② 課題・問題・解決の方向性の把握ができ、その調査、分析方法の基礎が理解できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③ 現場活動において、協力団体や地域関係者とのコミュニケーションをとることができる。			20点
【思考・判断・創造】	④ 実際の現場における、背景・現状・課題・問題点・解決の方向性を把握できる。		10点	20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
ゼミナールおよび地域活動への参加(出席)を基本とします。(30点) 知識と理解に加え、自身の考え方をどうレポートを課します。(30点) 地域活動でのコミュニケーションをはじめとする取り組み状況を評価します。(20点) テーマについての発表を評価します。(20点) 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

